

▶ 募集人数…2名/年

▶ 選考方法…書類選考および面接

▶ 研修期間 4年

9.高知大学医学部附属病院耳鼻咽喉科専門研修プログラム

プログラム責任者からのメッセージ

耳鼻咽喉科
教授 兵頭 政光

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は呼吸・発声・嚥下など人間の基本的かつ不可欠な機能を対象とする臨床分野です。また、そこには聴覚障害・平衡障害・中耳疾患・顔面神経障害などを扱う耳科領域、副鼻腔疾患・アレルギー・顔面外傷などを扱う鼻科領域、舌・口腔咽頭疾患や睡眠時無呼吸などを扱う口腔咽頭領域、音声障害・嚥下障害などを扱う喉頭領域、そして頭頸部の良性および悪性腫瘍を扱う頭頸部外科領域があります。対象患者さんは小児から高齢者まで幅広く、外科的なスキルと内科的な知識が必要なことも特徴です。このように耳鼻咽喉科・頭頸部外科はすそ野が広く、かつ人のQOLに直結する機能を診療対象としています。ぜひ耳鼻咽喉科・頭頸部外科医として、ともに腕を磨きましょう。

プログラムの特色

耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とし、外科的治療のみならず内科的治療も必要とすることから、幅広い医学的知識と医療技能の修得が求められています。本プログラムでは、中耳炎、副鼻腔炎やめまい・難聴といった一般的疾患から、頭頸部がん、音声障害や嚥下機能障害などサブスペシャルティの疾患まで、その分野の専門の指導医を通して幅広く学ぶことができます。また、基礎的・臨床的研究を行い、学会発表や論文作成などを通して科学者としての能力を伸ばすことができます。

連携施設名等

	施設名	指導管理責任者	専門分野・特色
基幹施設	高知大学医学部附属病院	兵頭 政光 教授 他5名	中耳炎、鼻・副鼻腔炎、音声障害、嚥下障害、頭頸部がん、睡眠時無呼吸
連携施設	県立あき総合病院	西山 正司 部長	中耳炎、鼻・副鼻腔炎、嚥下障害
	高知医療センター	小桜 謙一 主任医長 他1名	副鼻腔炎、頭頸部がん
	土佐市民病院	関 博之 医長	口腔咽頭
	愛媛大学医学部附属病院	羽藤 直人 教授 他9名	中耳炎、鼻・副鼻腔炎、頭頸部がん
	近畿大学医学部附属病院	安松 隆治 教授 他3名	中耳炎、聴覚障害、めまい、副鼻腔炎
	関西医科大学附属病院	岩井 大 教授 他9名	副鼻腔炎、頭頸部腫瘍

専攻医 週間スケジュール

高知大学医学部附属病院の例

	月	火	水	木	金
午前	外来 病棟業務	手 術	外来 病棟業務	手 術	外来 病棟業務
午後	症例カンファレンス 病棟回診	手 術	外来 病棟業務	手 術	外来 病棟業務
	放射線 カンファレンス (隔週)	医局会 抄読会			嚥下障害症例 カンファレンス

- 医療安全、感染対策、医療倫理に関する講習会にそれぞれ2回/年以上出席する
- 1回/月の音声・言語・嚥下勉強会(院内開催)、1回/月の放射線画像カンファレンスに参加する
- 2回/年の頭頸部がん勉強会(院内開催)に参加する

専門医、指導医取得までのタイムスケジュール

4年間の研修を修了し、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、症例経験数が耳鼻咽喉科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかを、研修プログラム統括責任者が判定します。その後、専門医認定試験受験申請を行い、試験合格後、専門医資格を取得します。その5年後に専門医資格の更新を行い、規定の要件を満たした場合、耳鼻咽喉科専門研修指導医申請の資格を得ることができます。

取得可能専門医

●耳鼻咽喉科専門医 ●日本気管食道科学会認定気管食道科専門医 ●日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医

主要症例名と実績数

令和3年度実績

●鼓膜形成術・鼓室形成術/61件 ●唾液腺腫瘍摘出術/24件 ●咽喉頭悪性腫瘍手術/20件
 ●内視鏡下副鼻腔手術/67件 ●喉頭形成術/7件 ●PSG検査/150件
 ●口蓋扁桃摘出術/179件 ●頸部郭清術/60件
 ●ラリngoマイクロ手術/32件 ●気管切開術/9件

耳鼻咽喉科は守備範囲が広く、専門医取得後も、各自の得意分野を生かした診療ができます。例えば手術を中心に中耳炎や癌の治療に携わる耳鼻咽喉科医もいますし、化学療法や緩和医療を専門にする医師もいます。専門医取得後は希望により他の専門医療機関での研修も可能です。また、手術以外にも、めまい、アレルギーや音声障害など外来診療を中心にする耳鼻咽喉科医もいますので、各自のライフスタイルに合わせた働き方が選択できます。

先輩の声

特任助教 葛目 雅弓

私は高知大学で初期研修を行った後、引き続き高知大学で後期研修を行っています。大学病院での研修は耳や鼻の領域だけでなく頭頸部腫瘍や嚥下機能についての幅広い症例を経験することができ、また各分野の専門性を持った医局の先生方にも気軽に質問や相談ができとても学びやすい環境です。医局の先生方は診療に行き詰った際の相談に気さくに答えてくれる方ばかりですので、安心して研修ができる医局だと感じています。

また手術症例も多く、専攻医が様々な外科的手技を研修する機会が多くあります。私も現在執刀させてもらえる手術手技が少しずつ増え、日々できることが増えていく楽しさとやりがいを実感しながら研修期間を過ごしています。診療外でも各領域の学会に積極的に参加させていただくことが多く、研修期間は専門領域をあまり絞らずにいろいろな分野見ることができて、じっくりと自分に合った領域を探しやすいと感じます。百聞は一見に如かずといえますし、ぜひ見学に来てください。



問い合わせ先

■教室名/耳鼻咽喉科学

■担当者名/小林 泰輔
コバヤシ タイスケ

■電話/088-880-2393

■メール/im37@kochi-u.ac.jp